

防災座談会

「地域と災害ボランティアが手を携える未来へ」

開催日時：令和4年8月21日（日）14:00～16:15

開催会場：早稲田集会所ホール

参加者：早稲田学区自主防災連絡協議会、NPO法人イマジナス（計15名）

早稲田学区の受援力向上の取り組みとして、平成26年8月の広島土砂災害など各地の災害現場で災害ボランティア活動に参加されたNPO法人イマジナスの方をゲストとしてお招きし、災害発生時に災害ボランティアの方と連携し質の高い復旧・復興をするための備えなどについて意見交換しました。



1. 自己紹介

2. 早稲田学区の自主防災活動の紹介

- ◆防災まちづくり開始のきっかけ
- ◆平成27年度以降の各年度の活動状況

3. 講演1：平成26年8月広島土砂災害の経験から

（講師：NPO法人イマジナス 向さん）

- ◆NPO法人イマジナスとは
 - ・2021年12月フィリピン台風被害への支援活動
- ◆これまでの災害復旧・復興への現地入り実績
 - ・東日本大震災(2011)、西日本豪雨(2018)、台風15号(2019)ほか
- ◆2014年8月広島土砂災害の経験から
 - ・災害ボランティアセンターの運営支援
 - ・災害復旧後期の支援（被災者への傾聴活動、地域交流会開催）
- ◆広島土砂災害の教訓
 - ・欠かせない地域ボランティアの存在、継続的な長期支援の必要性
- ◆早稲田学区の受援力を高めるために



座談会の様子

4. 講演2：平成30年7月西日本豪雨の経験から

（講師：NPO法人イマジナス 笠井さん）

- ◆呉市安浦町での災害
 - ・安浦町との関わり、西日本豪雨での被災状況
- ◆災害ボランティア活動の状況
 - ・安浦サテライトのボラセン運営、広大生の活動
 - ・支援活動の広がり
- ◆災害ボランティア活動として出来たこと
 - ・地域住民、専門性のある人などを活動ができる社協と引き合わせる
 - ・その土地、その人たちだからこそできる支援体制の構築
- ◆受援力を高めるために
 - ・日常からコミュニティの質を高めコラボレーションを積み重ねる



向さんの講演



笠井さんの講演

5. 参考資料の紹介

- ◆「災害ボランティア・ハンドブック」（広島市社協発行）の紹介



広島市社会福祉協議会
「災害ボランティア
ハンドブック」

6. 意見交換

- ・ボランティアセンターなど地域の拠点となる候補場所
- ・早稲田学区の交流活動の状況（お祭りなど）
- ・若い世代を地域活動に参加してもらうためのきっかけ作り
- ・災害ボランティアが活動しやすい地域（牛田早稲田2丁目など）での支援方法のシミュレーションの必要性
- ・広島女学院大学の学生との連携



参加者全員で記念写真